* 航海番号 KH-09-2次研究航海

* 観測海域 フィリピン海

*航海期間 平成21年5月14日(木)~平成21年6月3日(水)

*出港日時・場所 平成21年5月14日14時・東京(晴海)港

*入港日時・場所 平成21年6月 3日10時・東京(晴海)港

* 航海の研究題目

(和文) ニホンウナギの回遊と産卵に関する研究

(英文) Marine biological investigation on the spawning and migration of the Japanese eel

* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は⑩) 塚本勝巳・東京大学海洋研究所・教授・ktpc⊚ori. u-tokyo. ac. jp

*研究内容,主調査者(e-mail アドレス),観測項目

- ニホンウナギ卵・仔魚と産卵親魚の採集 塚本勝巳(ktpc⊚ori.u-tokyo.ac.jp)・大竹二雄(jaoyama⊚ori.u-tokyo.ac.jp)・ 吉永龍紀(yosinaga⊚kitasato-u.ac.jp) 大型 ORI ネット曳網, MTD ネット曳網, 遺伝子解析実験
- 2. ニホンウナギ産卵場周辺海域の生物・物理環境の解明 塚本勝巳(ktpc⊚ori.u-tokyo.ac.jp)・木村伸吾(s-kimura⊚ori.u-tokyo.ac.jp)・ 高橋鉄哉(t-takahashi⊚ori.u-tokyo.ac.jp)・福井 篤志(afukui⊚scc.u-tokai.ac.jp) 大型 ORI ネット曳網, NORPAC ネット曳網, CTD, ADCP, XCTD, ゼニライトブイ
- 3. ニホンウナギ産卵場形成メカニズムの解明 塚本勝巳(ktpc⊚ori. u-tokyo. ac. jp)・大竹二雄(jaoyama⊚ori. u-tokyo. ac. jp)・ 木村伸吾(s-kimura⊚ori. u-tokyo. ac. jp)・庄司隆行(shoji⊚scc. u-tokai. ac. jp) 大型 ORI ネット曳網, CTD, ADCP, XCTD, ゼニライトブイ
- 4. イセエビ類およびセミエビ類フィロゾー幼生の摂餌生態おおび種同定に関する研究 西田周平 (nishida@ori.u-tokyo.ac. jp) 大型 ORI ネット曳網, ORI ネット曳網
- 5. 永久塩泉による人工湧昇流に関する研究 圓山重直(maruyama⊚ifs. tohoku. ac. jp)・矢吹 崇(yabuki⊚pixy. ifs. tohoku. ac. jp) 漂流型湧昇パイプ系の揚収

* 乗船研究者氏名·所属·職名(計30名)

塚本勝巳・東京大学海洋研究所・教授

大竹二雄・東京大学海洋研究所・教授

高橋鉄哉・東京大学海洋研究所・特任講師

大矢真知子・東京大学海洋研究所・技術職員

渡邊 俊・東京大学海洋研究所・特任研究員

篠田 章・東京大学海洋研究所・特任研究員

ミラー、マイケル・東京大学海洋研究所・特任研究員

今井圭理・東京大学海洋研究所・技術専門職員

石垣秀雄・東京大学海洋研究所・技術職員

杢 雅利・東京大学海洋研究所・技術職員

横内一樹・東京大学海洋研究所・大学院学生

須藤竜介・東京大学海洋研究所・大学院学生

銭本 慧・東京大学海洋研究所・大学院学生

宮崎幸恵・東京大学海洋研究所・大学院学生

森岡裕詞・東京大学海洋研究所・大学院学生

町田真通・東京大学海洋研究所・大学院学生

安 孝珍・東京大学海洋研究所・大学院学生

塩崎麻由・東京大学海洋研究所・大学院学生

板倉 光・東京大学海洋研究所・大学院学生

Hanel Reinhold·東京大学海洋研究所·外国人研究員

矢吹 崇・東北大学流体科学研究所・産学官連携研究員

渡邉幹仁・東北大学大学院工学研究科・大学院学生

何 佳・東北大学大学院工学研究科・大学院学生

Torres Alvarez Juan Felipe・東北大学大学院工学研究科・大学院学生

吉永龍起・北里大学海洋生命科学部・専任講師

庄司隆行:東海大学海洋学部·教授

伴 和幸・東海大学大学院海洋学研究科・大学院学生

林 佐栄子・東海大学大学院海洋学研究科・大学院学生

阿井文瓶・NPO 法人日本さかなの会・理事長

吉田和弘・㈱マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

航跡・測点図





